

Course number		U-LAS60 10001 LJ17					
Course title (and course title in English)		統合科学：生命と社会（生命科学の進歩と人の生活） Interdisciplinary Sciences :Life and Society (Implications of the Progress in Life Science on Human Life)			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Biostudies Professor,CHISAKA OSAMU Graduate School of Biostudies Professor,NAGAO MASAYA Graduate School of Biostudies Associate Professor,SHIRAISHI HIDEAKI Center for iPS Cell Research and Application Program-Specific Associate Professor,MINARI JUSAKU
Group	Interdisciplinary Sciences			Field(Classification)		Interdisciplinary Sciences	
Language of instruction	Japanese			Old group		Number of credits	2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture (Face-to-face course)			Year/semesters	2024・Second semester
Days and periods	Mon.5		Target year	All students		Eligible students	For all majors
[Overview and purpose of the course]							
科学・技術の進歩は、人の生活を大きく変えてきました。特に、20世紀後半からの生命科学の著しい進展の成果として、劇的な技術革新がもたらされました。それらは、私たちの身のまわりに多く存在して生活そのものに大きな影響を与えていますが、そのことを意識する機会はありません。そこで、本授業では生命科学の進歩と人の生活に着目し、具体的なテーマをいくつか挙げて解説します。さらに、それらの先端技術が現代社会にもたらす新たなリスクやその解決法などについて議論をおこなうことで、私たちの生活と生命科学の関わりについて多面的にとらえられるようになることを目的とします。							
[Course objectives]							
現代社会において、生命科学が私たちの生活にどのように関わっているのかを、技術の側面のみならず倫理的・法的観点などを含めて多面的に理解する。また、ディスカッションを通じて、答えを求めることの難しい問題について総合的に考察する能力を養う。							
[Course schedule and contents]							
3つのテーマについて講義し、最後に全てのテーマをとおして考えられる問題について総合ディスカッションをおこなう。また、各講義の終わりあるいはトピックスの切れ目に、グループディスカッション等をおこなう。 ガイダンス（第1回） テーマ1：生命科学の視点からみた生物（第2回～第6回） 本テーマは、生命科学の基礎となる、遺伝子やタンパク質などの物質を基盤にした生命観への理解を深めることを目的とする。（担当：千坂修） テーマ2：技術の側面からみた生命科学（第7回～第10回） 生命と社会のつながりについて、バイオサイエンス・バイオテクノロジーの観点から解説する。 以下のテーマ ・先端医療（遺伝子診断、高額医療） ・生命・食料・環境を支える生物機能応用（食品添加物、遺伝子組換え作物）（担当：永尾雅哉、白石英秋）							
----- Continue to 統合科学：生命と社会（生命科学の進歩と人の生活）(2)↓↓↓							

統合科学：生命と社会（生命科学の進歩と人の生活）(2)

テーマ3：社会との関わりからみた生命科学（第11回～第12回）
生命と社会のつながりについて、先端医療技術の進歩と生命倫理のかかわりという観点から解説する。

以下のテーマを取りあげる。

- ・生殖補助医療の倫理
- ・ヒト胚へのゲノム編集技術適用（担当：三成寿作）

総合ディスカッション（第13、14回）（全担当教員）

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

出席状況、課題についての発表とレポートなどを総合して評価。詳細は授業で説明します。出席は教室の出席登録端末にて管理。授業開始時刻より15分以降入室の場合は遅刻、30分以上以降入室は欠席扱いとします。

[Textbooks]

Not used

[Study outside of class (preparation and review)]

授業内容について、何かしら自分の意見を言えるように考えておくこと。

[Other information (office hours, etc.)]

メールでの質問可。面談はメールで予約を取ることに。